

平成24年度 水資源機構営事業 事後評価
「香川用水施設緊急改築事業」
技術検討会(第2回) 議事概要

1. 開催日時 平成24年7月6日(金) 13:00~15:30

2. 場 所 独立行政法人 水資源機構 吉野川局 8階会議室

3. 出席者 別紙のとおり

4. 議事概要

(1) 「技術検討会(第1回)における指摘と対応」、「関係団体からの意見聴取結果」及び「事後評価書(案)」について、事務局から説明を行った。

(2) 技術検討会の意見として、次のとおり取りまとめられた。

香川用水は、香川県のほぼ全域に農業用水のみならず水道用水、工業用水を安定的に供給する上で重要な施設である。本事業実施により香川県農業に不可欠の農業用水を継続的に安定供給することが確保され、水稻作と野菜栽培との輪作体系に基づく大都市圏への野菜供給の産地としての確立など、多様な農業経営の展開に寄与したと認められる。

水路施設の補修・補強により維持管理費が節減され、農家の負担が軽減されるとともに、都市用水の安定供給が維持されている。

また、新たな水管理システムの導入により遠方監視・制御が可能となり、用水到達時間の把握が短縮されたこと等により、水管理の効率化や安全管理が図られ、農業用水としてはもとより、地域住民の生活環境保全に資するものと評価できる。

これらの効果を維持し、将来にわたり良質な農業用水を安定供給するためには、各施設の適正な維持管理と機能保全対策を適切に実施し、ライフサイクルコストの低減を図ることが重要である。更に、発生が危惧されている大規模地震に対する耐震性の確認及び必要な対策の検討が望まれる。

施設の維持管理費の軽減のため、今後の改修に当たっては、小水力発電の導入の可能性についても検討されたい。

香川用水は、香川県経済への大きな波及効果をもたらすと共に、親水や防火用水などにも利用されている。このような多面的機能を有する香川用水の重要性を地域住民に認知してもらうよう、絶えず広報していくことが望まれる。

(別紙)

平成24年度 水資源機構営事業 事後評価「香川用水施設緊急改築事業」

技術検討会(第2回)出席者名簿

区分	氏名	所属	役職	分野
技術検討会委員 (50音順)	角道 弘文	香川大学 工学部	准教授	環境
	亀山 宏	香川大学 農学部	准教授	農業経済
	佃 俊子	香川県生活研究グループ 連絡協議会	会長	消費者
	永井 明博	岡山大学 大学院 環境生命科学研究科	教授	農業土木 (委員長)
	中道 仁美	愛媛大学 農学部	准教授	地域振興
事後評価委員会	宮崎 敏行	農林水産省 農村振興局 整備部 水資源課	水資源企画官	
	藪内 敏行	農林水産省 中国四国農政局 農村計画部 農村振興課	課長	
	大木 昭一	農林水産省 中国四国農政局 農村計画部 土地改良管理課	課長	
	坪井 浩二	独立行政法人 水資源機構 管理事業部 施設課	課長	
	川村 文洋	独立行政法人 水資源機構 水路事業部 設計課	課長	
	藤田 乾一	独立行政法人 水資源機構 吉野川局	局長	
	落井 康裕	独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	所長	
事務局	藏本 外志之	農林水産省 農村振興局 整備部 水資源課	課長補佐	
	島田 晃成	独立行政法人 水資源機構 水路事業部 設計課	課長補佐	